

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2022年1月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで59年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2022年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

**放送批評懇談会**

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



&lt;お問い合わせ先&gt;

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島  
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F  
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510  
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2022年1月度ギャラクシー賞月間賞

**NHKスペシャル「台湾海峡で何が～米中“新冷戦”と日本～」**

12月26日放送 21:00～21:50 日本放送協会

台湾をめぐる事態が危機的状況にあることが、最前線の島の防衛や街の緊迫感を通して伝わってきた。他人事ではなく沖縄をはじめとした日本各地の米軍基地、自衛隊にも緊張が続き、台湾有事を想定したシミュレーションや民間企業も巻き込んだ想定も現実に行われている。これらの事実を、できるだけ感情的な判断を排し多角的に伝えてくれた。

**ヤギと大悟**

12月28日放送 13:30～15:00 テレビ東京 SION

さすがテレビ東京と言った感じの“突き抜けたユルさ”を堪能した。千鳥の大悟とヤギのぶらり旅。ヤギが家やグラウンドの雑草を食べ、満腹になったら終わり。ユルいといえば、これほどユルい番組もない。大悟とヤギが醸し出すなんともいえないほのぼの感、大悟と地元の人々とのなごむやり取りもすばらしく、とにかく癒やされた。

**エマージェンシーコール～緊急通報指令室～**

1月13日放送 22:30～23:00 日本放送協会

海外の番組フォーマットだが、生々しい通報電話の向こうのドラマが胸に沁みる。顔も状況もわからない声だけのドラマが逆にリアル。倒れた父に必死に心臓マッサージを施す娘の声など心を打つ。また、いかにこの1、2年でメンタル的に追い込まれた人々が多いのか、その様相をも見事に描き出している。

**ドキュメンタリー「解放区」「魔法の素材が舞う～プラスチック大気汚染～」**

1月16日放送 25:23～26:23 RKB毎日放送

自然界に流出・廃棄されたプラスチックが肉眼では見えないほどの小さな粒となって大気中に漂い、呼吸とともに人が吸い込んで健康被害を起こす恐れが懸念されている。海洋汚染とは別の新たな環境汚染問題の指摘である。最新の調査や研究についての継続的取材によって明らかになり始めたプラスチック大気汚染の最前線が報告されている。

★詳細は月刊誌「GALAC」2022年4月号に掲載します